



JR九州グループの会社説明会

2025年12月2日

九州旅客鉄道株式会社

(東証プライム・福証／証券コード 9142)



本日お伝えしたいこと

JR九州グループについて

- JR九州グループのあゆみ
- JR九州グループの事業構成

JR九州の経営戦略

- JR九州グループの経営理念
- JR九州グループ中期経営計画2025-2027

決算ハイライト ・ 株主還元

- 2026年3月期第2四半期連結決算ハイライト
- 2026年3月期通期連結業績予想
- 株主還元方針
- 株主優待制度



JR九州グループについて

JR九州グループのあゆみ

JR九州グループの事業構成



JR九州グループについて

JR九州グループのあゆみ

JR九州グループの事業構成



JR九州グループのあゆみ

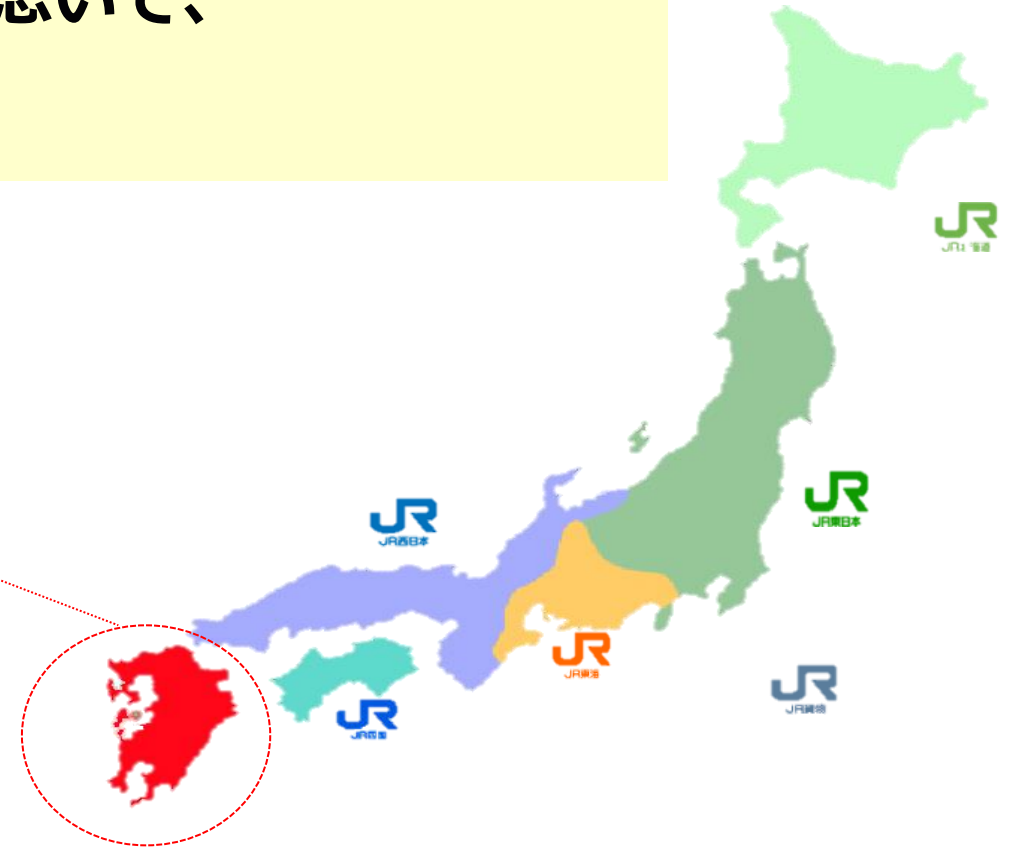
「日本国有鉄道」の分割民営化によりJR九州が発足

■ あらゆる事業に挑戦する精神

「鉄道事業だけに依存してはいけない」という思いで、
様々な事業に挑戦し成長を実現してきた



JR
JR九州
1987





JR九州グループのあゆみ（JR九州を表す数値）



年間輸送人員(鉄道・バス)
3.3億人

「ななつ星 in 九州」ご利用者
40の国と地域

従業員数(単体)
7,614名

グループ会社
42社

連結営業収益
4,543億円



JR九州グループのあゆみ（JR九州を表す数値）



駅ビル入場者
50万人/日

流通・外食店舗数
548店舗



分譲マンション竣工戸数
10,357戸

ホテル宿泊者
5千人/日



JR九州グループのあゆみ

地域を元気にするという思いのもと鉄道事業と関連事業の両輪であらゆる価値を創出

● 鉄道事業



(D & S列車)

- ・ 1989年の特急「ゆふいんの森」の運行を皮切りに、現在では、10本のD&S列車（デザイン&ストーリー列車（観光列車））を運行
- ・ 2024年4月に「かんぱち・いちろく」がデビュー



(ななつ星 in 九州)

- ・ 2013年に日本で初めてのクルーズトレインとして誕生
- ・ 米国出版大手コンデナスト社の旅行誌の読者投票では「世界の豪華列車」部門で3年連続世界トップに選ばれる



(九州新幹線・西九州新幹線)

- ・ 2011年に九州新幹線（博多～鹿児島中央）が全線開業し、JR博多シティとの相乗効果で当社の成長はさらに加速
- ・ 2022年に西九州新幹線が開業し、西九州エリアの活性化を後押し



JR九州グループのあゆみ

地域を元気にするという思いのもと鉄道事業と関連事業の両輪であらゆる価値を創出

● 関連事業



(不動産・ホテル)

- ・ 1989年に初の分譲マンション販売を開始
- ・ 1992年に「ホテルブラッサム福岡」を開業
現在、九州・沖縄、京都、東京、タイにて、20のホテルを展開
- ・ 1997年に初の駅ビル事業であるアミュプラザ小倉が開業
現在、九州の県庁所在地を中心に駅ビルを7箇所を展開
- ・ 2021年に物流事業へ参入
現在、九州内で物流不動産を6件稼働中、6件の開発に着手

(流通・外食)

- ・ 2002年には、飲食店「うまや」を東京・赤坂に開業するなど、東京、九州で外食事業も展開

JR九州グループのあゆみ(「ななつ星 in 九州」運行10周年)





JR九州グループについて

JR九州グループのあゆみ

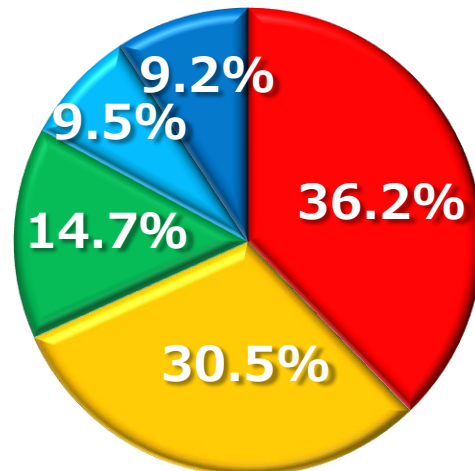
JR九州グループの事業構成



JR九州グループの事業構成

- JR九州グループは、九州全域に鉄道網を有する鉄道をコア事業とする企業グループ
- 駅ビルやホテル、マンション、建設、流通や外食事業など、鉄道事業との相乗効果が
高い領域を中心にその事業領域を拡大
- 鉄道以外の事業による売上が約6割となっており、事業の多角化が進んでいる

【セグメント別 売上構成比（2025年3月期）】



不動産・ホテル



運輸サービス



流通・外食



建設

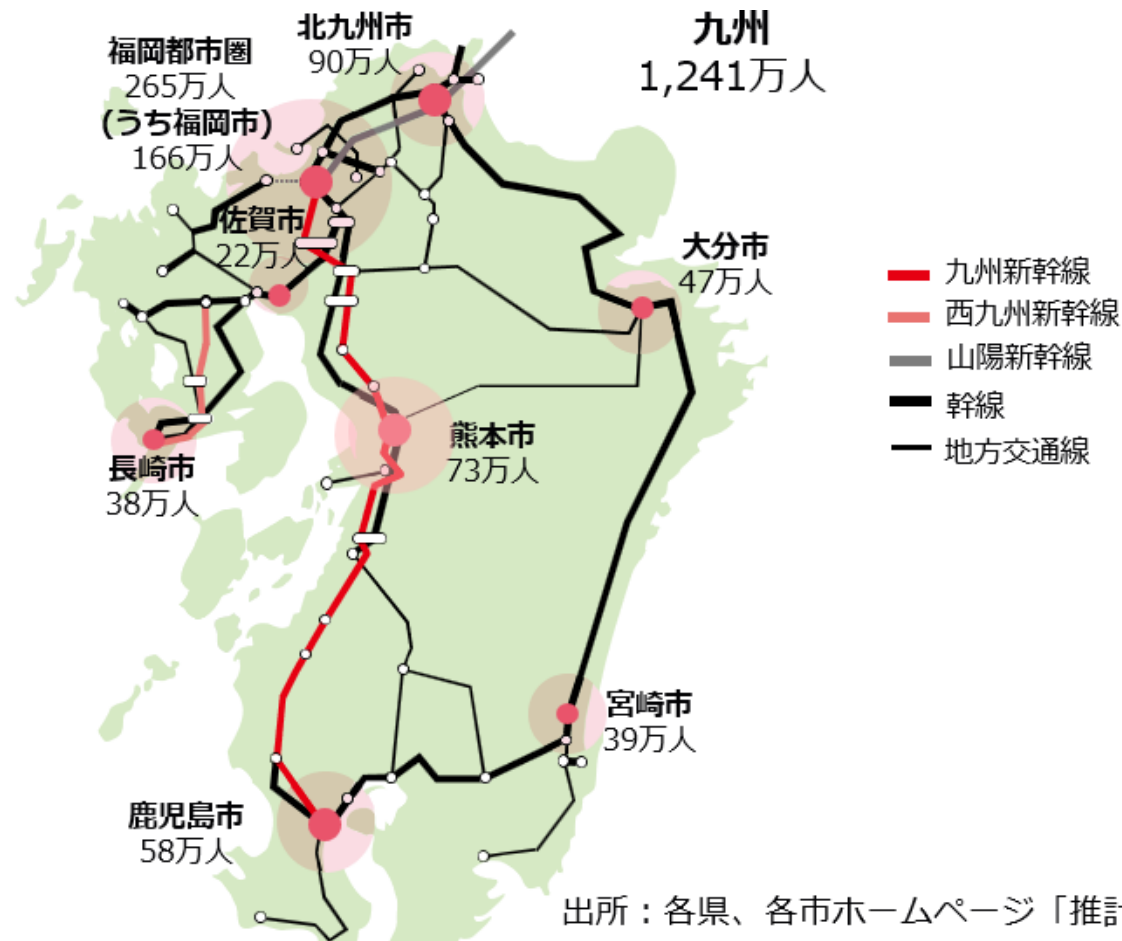


ビジネスサービス



JR九州グループの事業構成(全国屈指の経済基盤を有する九州)

- 九州は『日本の1割経済』という位置付け(域内総生産、総人口、総面積、事業所数等)
- 福岡市及びその周辺は人口増加が見込まれる成長性の高い都市
- 40万人以上の人口を有する都市が九州全体に分散
- 九州は人口減少が進んでいるものの、強固な経済基盤を有している





JR九州グループの経営戦略

JR九州グループの経営理念

JR九州グループ中期経営計画2025-2027



JR九州グループの経営戦略

JR九州グループの経営理念

JR九州グループ中期経営計画2025-2027



九州の元気を、世界へ

魅力あふれるまちづくりを通じて、
九州をもっとにぎやかに、もっとおもしろく。
九州に住む人、九州を訪れる人、
そして JR 九州グループをご利用の
世界中の人を元気にしていきます。



JR九州グループ経営理念

わたしたちの夢

九州の元気を、世界へ

魅力あふれるまちづくりを通じて、九州をもっとにぎやかに、もっとおもしろく。

九州に住む人、九州を訪れる人、そしてJR九州グループをご利用の世界中の人を元気にしていきます。

使命

安全を最優先し、
お客さま視点で考え、
安心して快適な毎日と
“わくわく”するときをつくる。

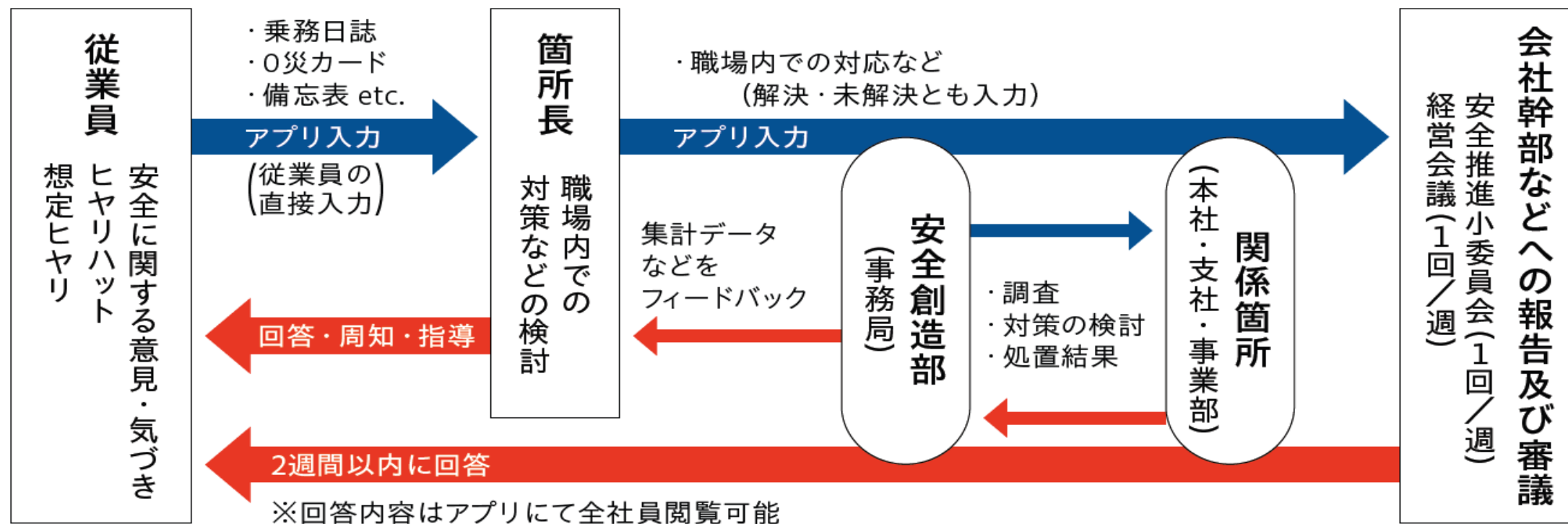
おこない

誠実	常に誠実さを貫き、自分に、そして社会に誇れる仕事をする。
共創	人や地域、多様な仲間と未来につながる価値を共創する。
挑戦	柔軟な発想を持ち、成長のための挑戦を続ける。

安全の創造

JR九州グループが最優先すべきは「安全」

「安全に関する社員の声」のフロー



「安全に関する社員の声」による改善事例

2024年度
安全に関する社員の声
16,616件

声の内容

八幡駅にて、ホームから線路内に立ち入るお客さまを確認。現場を確認すると線路沿いにあるフェンスが一部なく、外からも出入り可能な状態であった。



対策

お客さまが線路内に立入できないように、空いていた隙間にPCフェンスを設置しました。



企業CM「九州の元気を、世界へ」





JR九州グループの経営戦略

JR九州グループの経営理念

JR九州グループ中期経営計画2025-2027



JR九州グループ中期経営計画2025-2027

経営環境の変化を踏まえ、長期的な視点での持続的な成長に主眼を置いた計画を策定

重点戦略

①サステナブルな
モビリティサービスの
実現

②事業間連携の
強化によるまちづくり

③未来への種まき

経営基盤

労働市場の変化を
踏まえた人的資本拡充

環境課題への
統合的なアプローチ

DX活用範囲の
拡大と深掘り

グループガバナンス強化・適切なリスクテイクを可能にするガバナンス体制構築

JR九州グループ中期経営計画2025-2027

数値目標

営業収益 **5,300** 億円 営業利益 **710** 億円

EBITDA **1,150** 億円 ROE **現行水準の維持**

セグメント別目標*

(単位:億円)

セグメント名	営業収益	営業利益
運輸サービス	1,890	205
不動産・ホテル	1,670	340
流通・外食	800	40
建設	1,100	80
ビジネスサービス	880	55

*セグメント毎の営業収益・営業利益はセグメント間取引消去前

キャッシュアロケーション



財務健全性(2027年度見通し)

D/EBITDA 5倍程度

自己資本比率 40%程度



JR九州グループ中期経営計画2025-2027

経営環境の変化を踏まえ、長期的な視点での持続的な成長に主眼を置いた計画を策定

重点戦略

①サステナブルな
モビリティサービスの
実現

②事業間連携の
強化によるまちづくり

③未来への種まき

経営基盤

労働市場の変化を
踏まえた人的資本拡充

環境課題への
統合的なアプローチ

DX活用範囲の
拡大と深掘り

グループガバナンス強化・適切なリスクテイクを可能にするガバナンス体制構築

重点戦略① サステナブルなモビリティサービスの実現 | お客さまへの提供価値向上

運賃改定による鉄道運輸収入の増加を原資として、お客さまの満足度向上を目的に快適なご利用環境を整える取り組みを実施

次世代案内システム

従来の設備



- 駅にある発車標等の情報をWEBブラウザ上で提供。
リアルタイムな運行情報の提供により利便性を向上
- 発車標等のハード設備をクラウド化するとともに、各駅に設置しているLED発車標をLCD発車標(モニター)に置換えることで維持管理費を低減
- 一部の駅で期間限定で試験運用を実施(2025年10月)

「恋するトイレプロジェクト」

Before



After



【博多駅(中央改札内)トイレのリニューアル】
博多曲物、博多織をモチーフにした地域性のあるデザイン、使いやすさを考慮したレイアウト変更等のほか、空き状況が分かるサインを設置

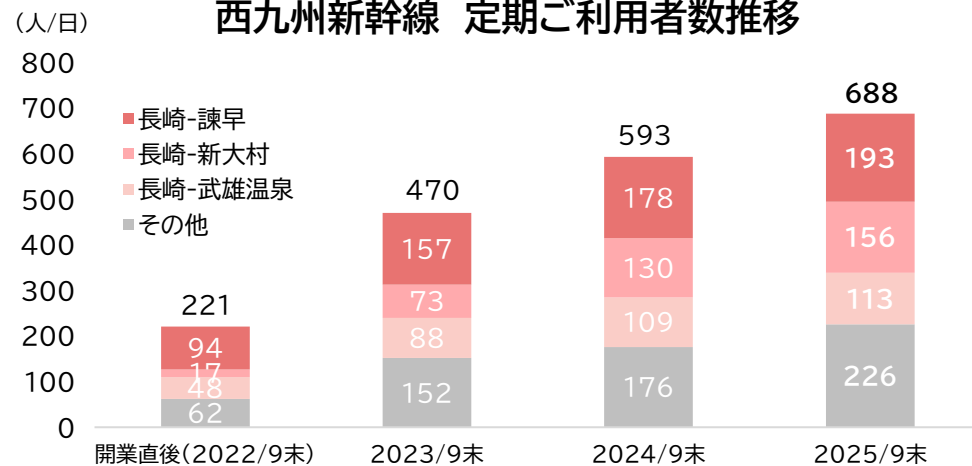
- 快適に駅のトイレをご利用いただくため、リニューアルプロジェクトを実施
- ご利用状況や設備の老朽化に応じて、器具取替や内装改良、サイン整備等を実施
- 博多駅(中央改札内)など13駅を完了、今年度内に9駅のリニューアルを予定

重点戦略① サステナブルなモビリティサービスの実現 | 営業施策

- 西九州新幹線の定期ご利用者数は引き続き増加傾向。また、ICカードのエリア拡大により利便性が向上
- 他社とのタイアップ企画は需要喚起に一定の効果があると認識。下半期も新たなイベントを実施予定

西九州エリアの状況

西九州新幹線 定期ご利用者数推移



任天堂とのタイアップ

PIKMIN×JR九州

実施期間:2024年12月~2025年6月

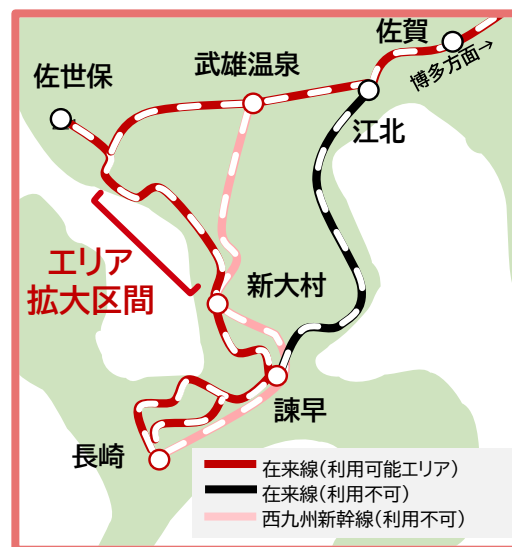


ラッピングトレイン乗車効率

885系⇒ +10.7%
787系⇒ + 7.4%

※各車両形式の全体の乗車効率とラッピングトレインの乗車効率を比較

大村線におけるICカード「SUGOCA」のエリア拡大(10月)



- 長崎～佐世保の利用が可能になるとともに、福岡・佐賀・長崎・大分・熊本で利用エリアが統一され、エリア内相互間での利用が可能に
- 長崎県と締結した包括連携協定に基づき実施。導入にかかる初期投資は県が支援

スーパーマリオ×JR九州 ～Let's GO KYUSHU!～

実施期間:2025年11月~2026年6月



【実施予定】

駅前広場でのイベント
ラッピングトレインの運行
グッズ販売
デジタルスタンプラリー など



重点戦略① サステナブルなモビリティサービスの実現 | 豊肥本線エリアにおける取り組み

●空港アクセス鉄道の整備および豊肥本線の輸送力強化の早期実現に向け、熊本県と協力して取り組む事項について合意

熊本県との合意について

- 目標 : 空港アクセス鉄道の整備および豊肥本線の輸送力強化の早期実現
- 主な内容 :
- ・空港アクセス鉄道は上下分離方式を採用
 - ・豊肥本線の輸送力強化
 - ・事業費の負担について
JR九州は空港アクセス鉄道による豊肥本線の増益分から事業費の1/3を上限に負担

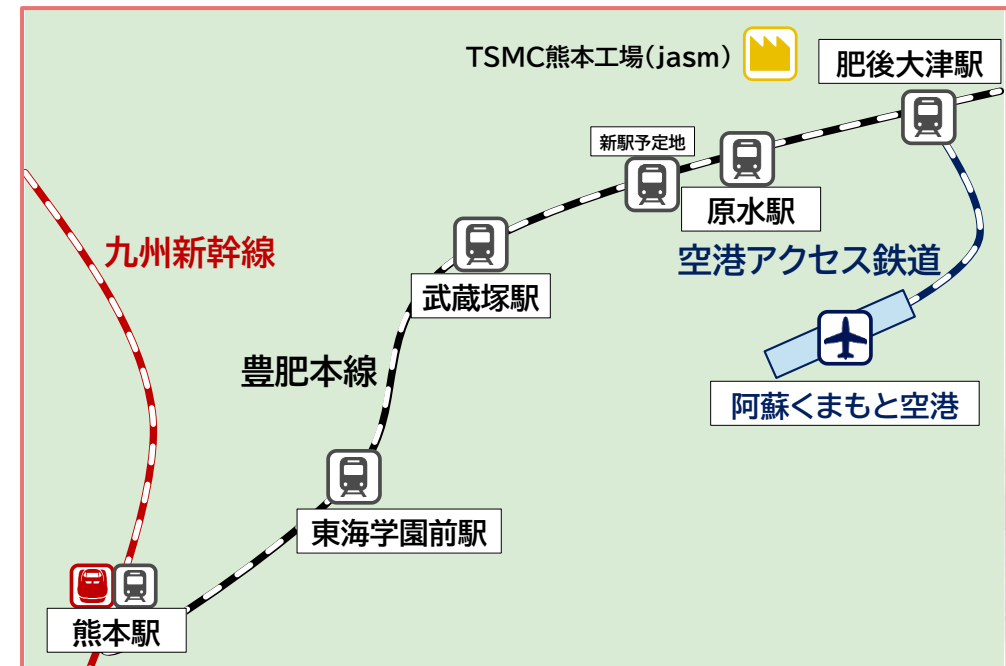


熊本県との共同記者会見
(2025年10月31日)

空港アクセス鉄道の概要

- 概算事業費 : 空港アクセス鉄道整備 約610億円
豊肥本線輸送力強化 約60億円
- 所要時間 : 普通 約48分 快速 約39分
空港駅～熊本駅

出所:「空港アクセス鉄道に係る調査・検討結果について(概算事業費、需要予測、B/C等)」、熊本県<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/215/247871.html>



豊肥本線の輸送力強化

- 快速列車の導入
- 列車の行き違いを可能に:東海学園前駅
- 列車の同時進入を可能に:武蔵塚駅、原水駅
- 列車の行き違いを可能にする施設の新設 等

重点戦略② 事業間連携の強化によるまちづくり | 豊肥本線エリアのまちづくり

- 半導体企業の集積により、交流・沿線人口の増加が見込まれる
- 新駅～原水駅間を対象としたまちづくりの検討や、肥後大津駅近接のオフィスビルの開発に取り組む

(仮称)原水駅周辺土地区画整理事業

- 当社を含むコンソーシアム(代表企業:三井不動産株式会社)が事業認可までの要件整理を担当する事業検討パートナーに選定。菊陽町が描く将来ビジョンの具体化を検討。

委託期間 2026年3月31日まで

対象エリア 新駅～原水駅間の約70ha

その他 今後、事業認可後の土地開発等を担当する事業推進パートナーの公募が行われる予定(時期未定)



(仮称)JR肥後大津ビル開発計画

- 半導体サプライヤーをはじめとした企業の拠点を想定。
- 肥後大津駅から徒歩2分
TSMC熊本工場も位置する、
セミコンテクノパークまで車で約8分
竣工 : 2027年1月(予定)
延床面積 : 約9,212㎡

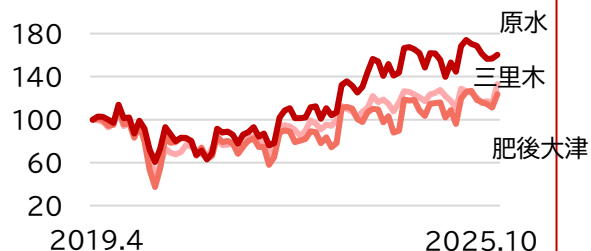


TSMC熊本工場(第1工場)

所在地 : 熊本県菊陽町
稼働時期: 2024年12月～
その他 : 第2工場は第1工場
周辺にて建設中。



乗車人員推移



※2019年4月の乗車人員=100として指数化



画像 ©2024 TerraMetrics, Airbus, Google、地図データ©2024 Google



重点戦略② 事業間連携の強化によるまちづくり | 土地区画整理事業への参入

●福岡県糟屋郡粕屋町および志免町において、当社を含めた共同企業体が土地区画整理事業の「業務代行予定者」に選定



このパースは、将来のイメージを表すものであり、実際とは異なる場合があります。



地区名称	粕屋町仲原東地区および志免町別府地区
所在地	福岡県糟屋郡粕屋町大字仲原他
地区面積 (事業検討区域)	約32.2ha
共同企業体	九州旅客鉄道 西松建設 東急不動産
事業スケジュール(予定)	2027年度以降 造成工事着工 2033年度以降 造成工事完了
用途	物流施設、商業施設、住宅等

- ・当社が包括連携協定を結んでいる粕屋町の主要地方道沿いに位置、博多駅・福岡空港から車で20分以内
- ・物流施設や商業施設を中心に、複合的なまちづくりを提案
- ・今後、詳細な事業化検討を実施



重点戦略③ 未来への種まき

- エクスペリサス株式会社と資本業務提携、インバウンド富裕層向け観光事業を強化
- 北九州市との協定による跨線道路橋の維持管理を本年4月より開始。BtoG市場で業務を拡大

エクスペリサス株式会社との資本業務提携 (資本業務提携に至った経緯と目的)



- ・ 当社では2024年4月からインバウンド富裕層向けの観光事業を開始。九州各地に特化したオーダーメイド型の観光体験を企画・開発・販売
- ・ ターゲットや商流が近い事業を営むエクスペリサス株式会社との協業による、取り組みの強化および高度化を目的に資本業務提携を締結

跨線道路橋の包括的維持管理に関する協定による業務拡大 (取組み)

- ・ 包括化により効率的かつ効果的な維持管理を実施し、道路・鉄道利用者の安全安心を向上させるため、北九州市と協定を締結
- ・ 日常点検や予防保全工事などを包括して受託することによる業務拡大



(今後の展望)

- ・ 相互送客や相互補完関係構築、良質かつ安定的な販路の拡大、人材育成の推進を目指す



(連携事項)

- (1) 跨線道路橋の日常点検に関すること
- (2) 跨線道路橋の定期点検に関すること
- (3) 跨線道路橋の予防的な維持・修繕に関すること
- (4) 跨線道路橋の異常時対応に関すること
- (5) 新技術の活用や将来的な維持管理に関すること

※下線部は、本協定による領域拡大

JR九州グループ中期経営計画 2025-2027

●グループ内外の経営環境の変化を踏まえ、長期的な視点での持続的な成長に主眼を置いた計画を策定

重点戦略

①サステナブルな
モビリティサービスの
実現

②事業間連携の
強化によるまちづくり

③未来への種まき

経営基盤

労働市場の変化を
踏まえた人的資本拡充

環境課題への
統合的なアプローチ

DX活用範囲の
拡大と深掘り

グループガバナンス強化・適切なリスクテイクを可能にするガバナンス体制構築

重点戦略を支える経営基盤強化の取り組み

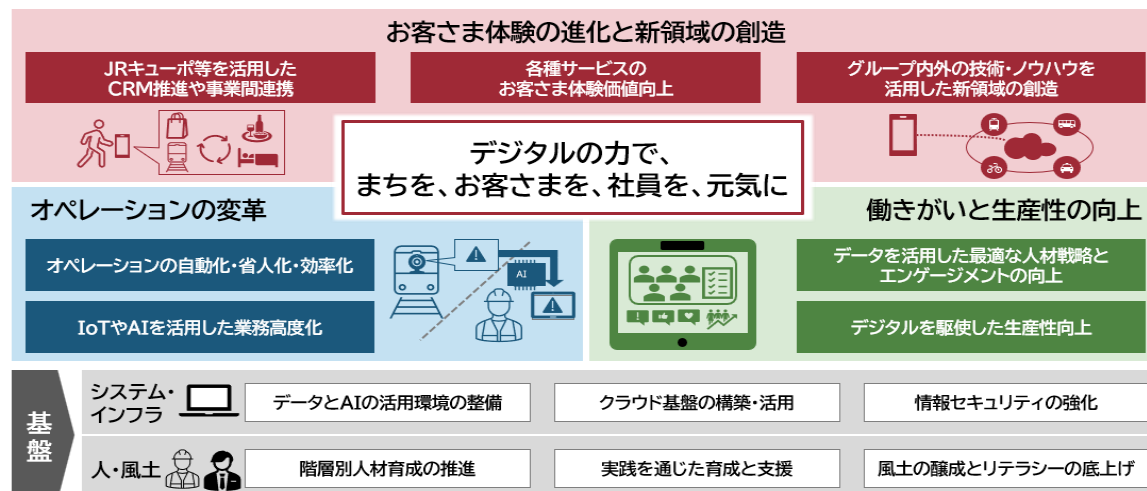
労働市場の変化を踏まえた人的資本拡充

- ・社員の待遇改善や働きやすさを改善するための投資を拡充
- ・研修の拡充等を通じて、人材の育成を推進



明るく楽しい会社づくり研修

DX活用範囲の拡大と深堀り



環境課題への統合的なアプローチ

地域・お客さま・事業パートナーと共創する、
自然と共生した未来



- ・気候変動に加え、資源循環や生物多様性の3つの領域に対して統合的にアプローチし、環境課題の解決を目指す
- ・2050年カーボンニュートラルに向けて、2035年度までに2023年度比でグループ全体のGHG排出量60%削減を掲げる

グループガバナンス強化・適切なリスクテイクを可能にするガバナンス体制構築

グループガバナンスの強化

新たな取り組み

- ・安全に関するリスク特定及び対策の明確化
- ・グループ全社の業績評価に安全の項目を追加
- ・グループ監査体制強化、全社に安全担当役員を選任
- ・グループ会社における安全に関する定例会議の開催
- ・社会的影響の大きな事象等が発生したグループ会社へのモニタリングの実施



決算ハイライト・株主還元

2026年3月期第2四半期連結決算ハイライト

2026年3月期通期連結業績予想

株主還元方針

株主優待制度



決算ハイライト・株主還元

2026年3月期第2四半期連結決算ハイライト

2026年3月期通期連結業績予想

株主還元方針

株主優待制度



2026年3月期第2四半期連結決算ハイライト

- 運賃・料金改定による鉄道旅客運輸収入の増加や、不動産販売収入が増加したこと等により、営業収益は対前年増収、営業利益、経常利益は対前年増益
- 「令和7年8月6日からの大雨」、博多駅空中都市プロジェクトの中止等による特別損失により、親会社株主に帰属する中間純利益は対前年減益

(単位: 億円)

	2025年3月期 2Q累計実績	2026年3月期 2Q累計実績	対前年	
営業収益	2,084	2,376	292	114.0%
営業利益	295	408	113	138.4%
経常利益	295	410	114	138.7%
特別損益	2	△ 93	△ 96	-
親会社株主に帰属する 中間純利益	226	223	△ 3	98.6%
EBITDA ^(※)	476	596	120	125.3%

※EBITDA=営業利益+減価償却費(転貸を目的としたリース資産に係る減価償却費除く) 以下、全て同様です。

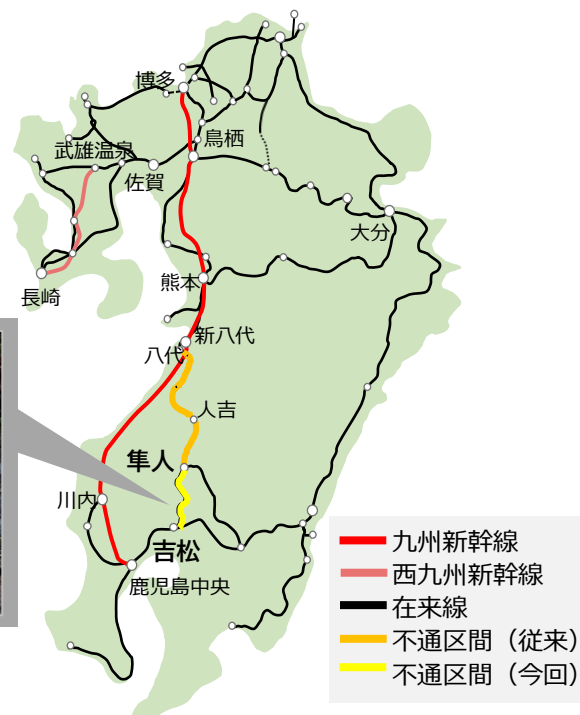
特別損失の計上について

●「令和7年8月6日からの大雨」および博多駅空中都市プロジェクトの中止により、特別損失を計上

「令和7年8月6日からの大雨」による被害

- 鹿児島本線、日豊本線、肥薩線等で被害が発生
- 肥薩線の吉松～隼人間は大きな被害を受け当面の間運行を取り止め
- 鉄道での復旧にかかる災害損失引当金繰入額等約14億円を特別損失に計上

不通区間	肥薩線 吉松～隼人
主な被害	土砂流入、築堤崩壊



博多駅空中都市プロジェクトの中止

● これまでの経緯

2019年	3月	プロジェクトチームを立ち上げ、検討開始
2021年	9月	取締役会にて承認 博多駅線上含め地下1階、地上12階建ての構造、 オフィス、ホテル、商業等の開発を想定
	10月	鉄道部分の仮設工事を先行して開始
2022年	3月	「博多駅空中都市プロジェクト」として公表
2025年	9月	取締役会にてプロジェクト中止を決定、公表

- 計画地は博多駅の線路上に位置するため工事の難易度が高く、工期が長くなることから工事費高騰の影響を大きく受け、当初想定 of 2倍弱程度の建築費を要することが判明
- 建物規模や用途(アセット)等の見直し、設計見直しや施工方法の検討を通じて、効率化や工事費の低減を検討、収入やコストを含めて様々な可能性を模索し事業の見直しに努めたが、実行可能な事業計画の策定が困難であるとの結論に至り、2025年9月取締役会にてプロジェクト中止を決定
- プロジェクト撤退損約87億円を特別損失に計上



2026年3月期 連結通期業績予想ハイライト

- 2025年8月5日公表の予想を変更
- 上期までの状況や下期の需要等を業績予想へ反映、営業収益、営業利益、経常利益は上方修正、親会社株主に帰属する当期純利益は下方修正

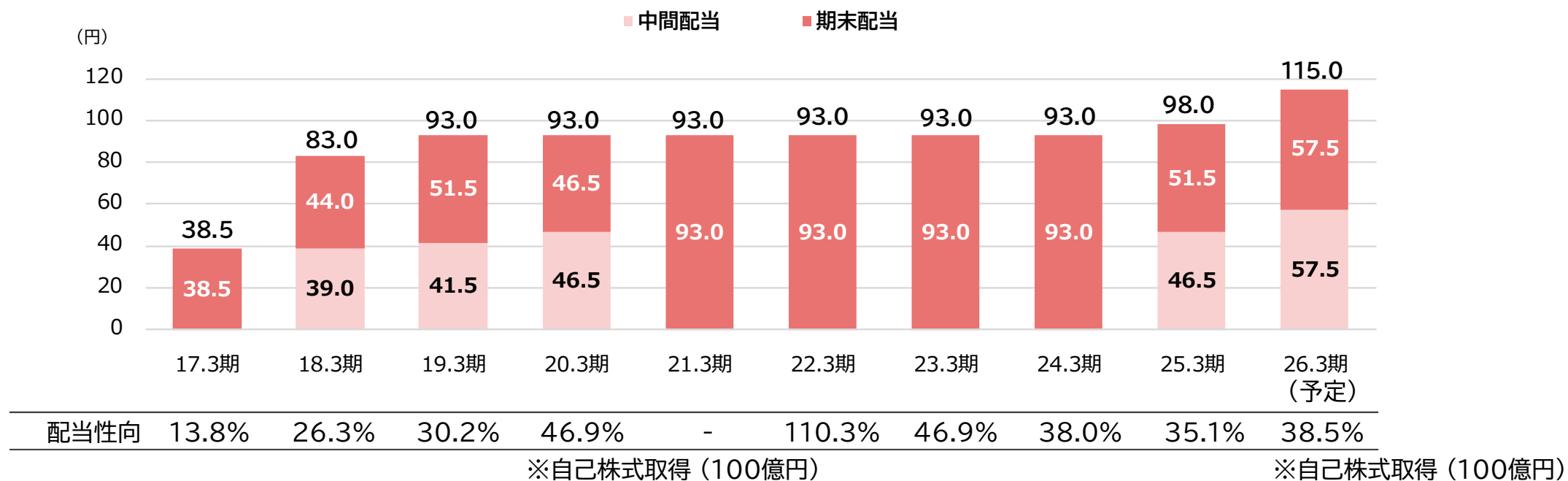
(単位:億円)

	2026年3月期 通期予想 (8/5)	2026年3月期 通期予想 (11/5)	対前回		中期経営計画 2025-2027 数値目標
営業収益	4,833	4,891	58	101.2%	5,300
営業利益	676	731	55	108.1%	710
経常利益	659	723	64	109.7%	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	511	460	△ 51	90.0%	—
EBITDA	1,064	1,120	56	105.3%	1,150

株主還元について

- 株主還元は長期安定的に行っていくことが重要と考え、2028年3月期までの間は、連結配当性向35%以上の配当を実施するとともに、機動的に自己株式取得を行う
(前中期経営計画期間と比較して配当額は増加する見込み)
- 上記方針に基づき、業績予想の変更も踏まえて検討した結果、2026年3月期の配当予想は、1株当たり年間配当金115円に据え置いた

(参考)1株当たり年間配当金の推移





決算ハイライト・株主還元

2026年3月期第2四半期連結決算ハイライト

2026年3月期通期連結業績予想

株主還元方針

株主優待制度



株主優待制度

2種類の株主優待（3月31日を基準日として6月下旬に送付しています）

鉄道株主優待券

1枚につき、お一人様の運賃が1日無料（**1日乗車券タイプ**）
特急列車・新幹線にご乗車の場合は、別途特急券が必要

JR九州グループ 株主優待券

JR九州グループの各利用対象施設で現金同様にご利用可能な
2,500円分の金券

株主優待制度の拡充（2025年7月1日より）

<JR九州グループ株主優待券>

2025年7月1日より**電子化**し、利用対象施設を**新規追加**

<長期保有株主優待制度>

継続保有期間を**3年から2年に短縮**し対象範囲を拡大

株主優待制度(鉄道株主優待券)

- お一人様1日限り、JR九州管内の快速・普通列車に乗り放題(日田彦山線BRT含む)
- 別途特急券等をご購入いただければ、特急列車・新幹線、D&S列車にもご乗車いただけます。
- 鉄道株主優待券と併用する特急券は、券売機やインターネット予約でも購入いただけます。

＜ご利用の際の運賃・料金のイメージ＞

博多→鹿児島・指宿温泉へ

(大人お一人さまで九州新幹線自由席、特急「指宿のたまて箱」指定席、片道利用の場合)

通常料金: 13,750円(運賃: 6,820円、新幹線自由席: 5,150円、特急指定席1,780円)

優待料金: 6,930円(運賃: 0円、新幹線自由席: 5,150円、特急指定席1,780円)



株主優待制度(JR九州グループ株主優待券)

2025年7月1日から拡充しました！

「JR九州グループ株主優待券」を電子化

おすすめポイント

- メリット ① お手元のスマホで簡単に使える！
- メリット ② 1円単位で使える！
- メリット ③ 紛失のリスク低減！
- メリット ④ 紙の使用量削減につながり、環境にやさしい！



利用手順



株主優待制度(JR九州グループ株主優待券)

2025年7月1日から拡充しました！

JR九州グループ株主優待券の利用対象施設を新規追加

※JR九州リテール株式会社が運営する九州のお土産セレクトショップ「銘品蔵」全店舗と
JR九州フードサービス株式会社が関西地区で運営する「こめらく」を新規追加



博多銘品蔵 博多口店



こめらく 贅沢な、お茶漬け日和。
阪急西宮ガーデンズ店



株主優待制度(長期保有株主優待制度)

2025年7月1日から拡充しました！

長期保有株主優待制度の内容を拡充し継続保有期間を2年に短縮

ご優待内容

「鉄道株主優待券」と「JR九州グループ株主優待券」を追加で発行

発行基準

毎年3月31日を基準日として、500株以上を保有し、かつ100株でも継続して2年以上保有

所有株式数	鉄道株主 優待券	長期保有 株主優待	JR九州グループ 株主優待券	長期保有 株主優待
		—	一律2,500円分	—
100株～500株未満	100株毎に 1 枚	—	一律2,500円分	—
500株～1,000株未満	100株毎に 1 枚	1 枚追加	一律2,500円分	1,000円分追加
1,000株～10,000株未満	10枚 + 1,000株超過分 200株毎に 1 枚	2 枚追加		2,000円分追加
10,000株～20,000株未満	55枚 + 10,000株超過分 300株毎に 1 枚			
20,000株以上	100枚			

例) 2025年3月31日時点での所有株式数が500株以上であれば、
直前2年間の保有株式数が500株未満であっても長期保有株主優待の対象となります。

当社グループは「安全を最優先し、お客さま視点で考え、安心して快適な毎日と“わくわく”するときをつくる。」ことを「使命」として、「九州の元気を、世界へ」届けることを「わたしたちの夢」として掲げています。

これらの経営理念の実現を目指し、実行していく戦略として「JR九州グループ中期経営計画2025-2027」を策定しています。

これからも持続的な成長に向けて、積極果敢に挑戦するとともに、当社グループに関わるすべての方の元気をつくることに挑戦し続けることで、中長期的な企業価値向上に努めてまいります。

★ 本日のまとめ

JR九州グループ について

主たる事業フィールドである九州を中心に、鉄道事業のみならず不動産、流通・外食事業等さまざまな分野に進出し、**持続的な成長に向けて積極果敢に挑戦する企業グループ**

JR九州の 経営戦略

JR九州グループ経営理念を一新するとともに、
「JR九州グループ中期経営計画2025-2027」を策定。
「サステナブルなモビリティサービスの実現」、「事業間連携の強化によるまちづくり」、「未来への種まき」を重点的に取組む

決算ハイライト ・ 株主還元

- ・ 2026年3月期第2四半期は対前年で**増収増益**
- ・ 親会社株主に帰属する中間純利益は博多駅空中都市プロジェクトの計画中止や本年8月の大雨により減益
- ・ 連結配当性向35%以上の配当を実施し、機動的に自己株式取得を実施
2026年3月期の配当予想は1株当たり**年間配当金115円**
- ・ 株主優待は2種類（**長期保有株主優待制度あり**）

株主さま向け限定イベントの開催(過去の開催実績)

株主さまに当社事業への理解を深めていただくべく、各種イベントを開催

株式上場7周年記念キャンペーン



JR九州社長によるトークショー＆「SL人吉」「A列車で行こう」貸切ツアーの様子

熊本総合車両所見学ツアー

- 熊本総合車両所にて新幹線の点検行程等を見学



九州外で開催のイベント



関東地区（赤坂うまや）にて写真家村上悠太氏をお招きしてトークショーを開催

株主さま向けメルマガ会員限定イベント



鉄道フェスタ in 南福岡車両区



ミニトマト収穫体験ツアー in 熊本

株主さま向けメールマガジンのご案内

当社の株主さま向けに月2回程度、IR情報や株主さま限定イベント、アンケート等の情報をお届けいたします

[🏠](#) > [企業・IR・ESG・採用](#) > [IR情報](#) > [IRライブラリ](#) > [個人投資家向け資料](#) > [メールマガジン](#)

JR九州株主さま向けメールマガジン登録のご案内

JR九州株主さま向けメールマガジンは、当社の株主の皆さまへの情報提供サービスです。以下のパナーをクリックして株主さまの情報をご登録いただきますと、メールで当社の企業情報やキャンペーン情報をお届けします。

※当社の株主さま限定のサービスとなります。

[新規登録（登録料・年会費はありません） >](#)

ご登録はこちら



※本メールマガジンは、トライコーン株式会社のメール配信ASPサービス「クライゼル」を採用しており、申込受付フォームは「クライゼル」のサイトとなりますので予めご了承ください。



将来の見通しに関する記述について

本資料には、JR九州グループの見通し・目標等の将来に関する記述がなされています。

これらは、本資料の作成時点において入手可能な情報、予測や作成時点における仮定に基づいた当社の判断等によって記述されたものであります。そのため、今後、国内外および九州の経済情勢、不動産市況、各プロジェクトの進捗、法令規制の変化、その他の幅広いリスク・要因の影響を受け、実際の経営成績等が本資料に記載された内容と大きく異なる可能性があることにご留意ください。

弊社IR関連資料は、弊社ホームページでご覧いただけます。

JR九州ホームページ

<https://www.jrkyushu.co.jp/company/ir/library/earnings/>



ありがとうございました